

熱中症による救急搬送状況（R7. 5. 1～6. 15）について

県内の熱中症による救急搬送人員について、令和7年5月1日（調査開始日）から6月15日までの状況を取りまとめましたので、その概要を公表します。

- 令和7年5月1日から6月15日までの県内における熱中症による救急搬送人員は、59人（速報値）でした。
- 年齢区分別、初診時における傷病程度別等の内訳は次のとおりです。
 - ・ 年齢区分別では、高齢者が最も多く、次いで成人、少年の順。
 - ・ 初診時における傷病程度別にみると、軽症が最も多く、次いで中等症。

なお、死亡者は0名。

- 死 亡 初診時において死亡が確認されたもの
- 重 症 傷病程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの
- 中等症 傷病程度が重症または軽症以外のもの
- 軽 症 傷病程度が入院加療を必要としないもの
- その他 医師の診断がないもの及び傷病程度が判明しないもの、その他の場所へ搬送したもの

- ・ 発生場所別の救急搬送人員をみると、住居が最も多く、次いで公衆出入場所（屋外）の順。

- 住 居 敷地内全ての場所を含む
- 工場、工事現場等 道路工事現場、工場、作業所等
- 田畑、森林等 田畑、森林、海、川等（農・畜・水産作業の場合のみ）
- 教育機関 幼稚園、保育園、小・中・高等学校、専門学校、大学等
- 公衆出入場所〔屋内〕 不特定者が出入りする場所の屋内部分
（例：劇場、飲食店、百貨店、病院、公衆浴場 等）
- 公衆出入場所〔屋外〕 不特定者が出入りする場所の屋外部分
（例：競技場、各対象物の屋外駐車場、駅（屋外ホーム）等）
- 道 路 一般道路、歩道、有料道路、高速道路
- そ の 他 上記に該当しない項目

○ 直近1週間（6月9日～6月15日）における救急搬送人員（速報値）

搬送人員	年齢					傷病程度（初診時）				
	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	死亡	重症	中等症	軽症	その他
13	0	0	0	3	10	0	0	5	6	2
発生場所										
住居	工事現場、工場等	田畑、森林等	教育機関	公衆出入場所		道路	その他			
				屋内	屋外					
8	0	0	0	1	1	1	2			

県内の熱中症による救急搬送状況（R5～R7）

1 年齢及び傷病程度（初診時） (単位：人)

年 (調査期間)	搬送 人員数	年齢区分					初診時における傷病程度				
		新生児 (生後28 日未満)	乳幼児 (7歳 未満)	少年 (18歳 未満)	成人 (65歳 未満)	高齢者 (65歳 以上)	死亡	重症	中等症	軽症	その他
令和5年 (5/1～10/1)	1114	0	7	96	343	668	4	45	276	761	28
	(構成比)	0.0%	0.6%	8.6%	30.8%	60.0%	0.4%	4.0%	24.8%	68.3%	2.5%
令和6年 (4/29～10/6)	679	0	1	58	195	425	1	16	199	460	3
	(構成比)	0.0%	0.1%	8.5%	28.7%	62.6%	0.1%	2.4%	29.3%	67.7%	0.4%
令和7年 (5/1～6/15)	59	0	0	8	15	36	0	0	19	38	2
	(構成比)	0.0%	0.0%	13.6%	25.4%	61.0%	0.0%	0.0%	32.2%	64.4%	3.4%
[参考] 対R6同期比 (4/29～6/16)	▲ 19	+ 0	▲ 1	▲ 5	▲ 1	▲ 12	+ 0	▲ 1	▲ 1	▲ 18	+ 1
[参考] 対R5同期比 (5/1～6/18)	▲ 13	+ 0	▲ 1	▲ 5	▲ 4	▲ 3	+ 0	▲ 6	▲ 3	▲ 5	+ 1

【集計対象】 調査期間中に救急搬送した熱中症（疑い含む）の傷病者の人員数

2 発生場所別 (単位：人)

年 (調査期間)	搬送 人員数	住居	工場、 工事 現場等	田畑、 森林等	教育 機関	公衆出入場所		道路	その他
						屋内	屋外		
令和5年 (5/1～10/1)	1114	523	122	41	38	66	131	126	67
令和6年 (4/29～10/6)	679	303	64	20	18	52	83	92	47
令和7年 (5/1～6/15)	59	19	3	3	6	4	11	5	8
[参考] 対R6同期比 (4/29～6/16)	▲ 19	▲ 9	▲ 1	+ 2	▲ 1	+ 1	▲ 1	▲ 11	+ 1
[参考] 対R5同期比 (5/1～6/18)	▲ 13	▲ 1	+ 2	+ 1	+ 1	+ 2	▲ 6	▲ 11	▲ 1

